

2025年度 Aセメスター「物質科学概論」講義日程

テーマ： 多様な視点で見る物質科学

趣 旨：

物質の性質を調べる物質科学は、さまざまな切り口で研究が進められる。物質を多数の異なる側面から調べることによってより深くその物質の性質を知ることができる。物質科学概論では、物質科学コースの12名の研究者が物質研究の多様な視点を紹介し、どのような研究が展開されているのか、オムニバス形式で紹介する。

時 限： 月曜5限 17:05—18:35

場 所： 16-119/129

第一回目はオンライン(URLはUTASの授業計画およびUTOLに掲載)、それ以外は全て対面での実施)

日 程

	月 日	講 師	タ イ ト ル
1	10/6(月)オンライン	高木 隆司	量子情報からみる物質科学
2	10/13(月)対面	長谷川 宗良	高強度光科学：イオン化と分子回転
3	10/20(月)対面	野海 俊文	宇宙論で探る重力と素粒子の世界
4	10/27(月)対面	平岡 秀一	自己集合を通して理解する反応ネットワークの支配原理
5	11/6(木)対面	上野 和紀	界面が作る新物性：固液界面、固固界面に作られる新しい電子機能
6	11/10(月)対面	横川 大輔	身の回りの世界を理論化学の視点で眺めてみると
7	11/17(月)対面	永田 利明	気相クラスターの構造と化学反応
8	12/1(月)対面	栗原 貴之	超高速光計測技術とテラヘルツスピントロニクス
9	12/8(月)対面	素川 靖司	レーザー冷却原子で拓く物性の量子シミュレーション実験
10	12/15(月)対面	羽馬 哲也	準安定な氷を通して見る宇宙と地球の化学
11	12/22(月)対面	内田 さやか	分子性結晶のゆらぎの理解と機能創出
12	1/5(月)対面	若本 祐一	細胞に学ぶ、適応性と恒常性を併せ持つ複雑システムの設計原理
13	1/19(月)	予備日	

成績評価の方法：

出席状況およびレポートによる。

各講師が出題する課題のうち3つ以上を選択してレポートを提出する。提出期限は各教員が定める。

提出レポート数が3に満たない場合は単位認定の対象とならない。

提出レポート数が4以上の場合は、提出回数に応じて加点する。